

二十歳の誓い

私は人と話すことが大好きです。友達と話している時間が何よりの癒しであり、元気をもらえます。そんな私にとって、高校入学直後、新型コロナの影響で学校に行けなかった期間は苦痛そのものでした。楽しみにしていた高校生活は短くなるし、友達とも直接話すことが出来ない状況に悶々とした思いを抱いていました。

そんな中、高校で使用していた学習アプリを通じて、クラスメイトの1人が自己紹介をはじめたのです。「一回しかない高校生活やし、どうせ短なったんやから、なんかしたいよなあ」という思いから始まった自己紹介リレー。人と話す機会が減っていた私にとってこの動きは希望の光に感じられました。

自宅待機が終わり、徐々に全員が教室にそろった日、ただの文字列だった自己紹介が急に彩りを持ち、ずっと前からお互いのこと知っていたような感じがしました。その日のうちに40人全員のグループLINEが完成し、私たちの高校生活が始まったのです。

LINE というものが自分の高校生活をより豊かにしてくれたと感じた経験でした。

私は、小さい頃からディズニーが大好きです。ある時プリンセスのアリエルと話せる機会がありました。ところがアリエルが話しかけてくれているのに、彼女の英語がさっぱり分からず、悔しい思いをしたのです。それから幼いながらも、“英語を勉強して、プリンセスと英語で会話する”という夢を持ちました。

そして高校生になったら、海外に関するイベントにはできる限り参加し、様々な国の人たちとつながりたいと思っていましたが、現実にはコロナの影響で国際交流イベントは次々つぶれていきました。そんな中、放課後にリモートで、台湾の学生と交流する機会があり、その場でインスタグラムを交換し、DMでのやり取りを始めたのです。そして、実際に会ったこともないのに、SNSを通じて、自分の視野が一気に広がって行くのを感じたのです。リモートやSNSというものは、私たちの世代にとって大きな存在であると実感しています。

「人とつながる」ということは「誰かに希望を与えることだ」と思います。

私の名前は心に希望と書いて“心希”と言います。これまでの人生で、色々な人から希望を与えてもらった分、これからは、人に希望を与えられる、そんな人間になりたいです。そして京都と世界をつなぐグローバルな人物になることを、二十歳の誓いとさせていただきます。

令和7年1月13日 青山 心希